

トピックス

24年度決算、事業報告などを原案通り可決、承認

国保連合会通常総会



本会通常総会は、7月26日（金）、国保連合会に35保険者の代表が出席して開かれ、平成24年度事業報告、一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案を原案通り可決、承認された。



松山理事長

松山理事長（福知山市長）は挨拶で、「24年度事業について、おおむね所期の目的を達成できたのは、府をはじめ保険者の皆さまのご指導とご協力の賜物であります」と感謝を述べた。また現在、国においては昨年8月に社会保障制度改革推進法が制定され、医療の分野においても疾病の予防や医療保険制度の財政基盤の安定化の検討が開始されている。高齢者医療制度については持続可能な社会保障制度の実現に向けて検討がなされ、本年8月に一定の結論が出る。このような国保を取り巻く状況の中で、本会は更なる業務処理の効率化・保険者ニーズに沿った事業展開に努めていきたいと話した。

宮地府健康福祉部副部長の挨拶のあと議事に入り、議長に久御山町の信貴町長を選出した。議事録署名人には京都府薬剤師国保組合の宮秋理事長並びに京都市食品衛生国保組合の伊藤理事長を選任した。議案は、平成24年度報告承認事項3件、平成25年度議決事項11件、同年度報告承認事項3件、同年度報告事項1件で、事務局の説明、監査結果報告のあと、いずれも原案通り可決、承認した。閉会挨拶は宮北副理事長（京都料理飲食業国保組合理事長）が行った。



宮北副理事長